



# AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

2005年9月1日発行 第42号 発行・横浜スペイン協会事務局

## 2005年度定時総会開催

2005年度の定時総会は、5月8日（日）、定刻の午後2時に、県民サポートセンター711号室において、出席者37名で開催されました。

山崎宗城理事の進行で始まり、先ず下山会長から挨拶がありました。その中で、協会創立15周年を迎えるに至るまでの多くの会員並びに協力者の支援に対して感謝と、今後の協会の発展を期待する旨を、述べられました。

規約に則り議長に会長を指名し、「2005年度定時総会議案書」に基づき議事に入りました。

2004年度の事業報告と一般会計決算報告があり、監事を代表して井口監事から、適正な会計処理である旨の監査報告がありました。続いて2005年度の事業計画案を飯塚副会長から、収支予算案については齋藤副会長からそれぞれ説明があり、この「議案書」について諮ったところ全会一致で可決し、午後3時に無事閉会いたしました。

この後お茶を飲みながらの歓談に入り、文化講座の運営についての質問や、15周年行事への期待などが話し合われました。

なお「議案書」は総会に先立つ理事会で承認されたもので、会員には改めてお送りいたしますのでご参照ください。

## 協会創立15周年行事華やかに開催！

本年は当協会が設立されてから、ちょうど15周年の年に当たります。そこで昨年から多彩な15周年記念イベントを行うべく計画がなされ、準備がされてきました。

2月のスペイン大使館庭園への桜植樹。4月のロンダ訪問ミッション。そしてそのハイライトともいえるべき日時が、6月24日でした。次にこれらのイベントの模様を紹介します。

### (1) 全国スペイン友好団体交流会

北は北海道から南は九州まで、全国九つのスペイン友好団体がみなとみらい地区にある横浜グランドインターコンチネンタルホテルに集まり、今回の交流会が始まりました。

このような集まりは、かつてレニャ大使の時、東京のスペイン大使館で行われ、また志摩スペイン村において、有志の団体がスペイン村観光という形で行われたことがありました。しかし、純粹に一団体が活動報告会と交流会を主催するという形では、今回がはじめての試みでした。

来年2006年は、日本とスペインとの最初の出会いをしたフランシスコ・ザビエル生誕500年にあたります。そこでこれに因んで、ザビエルが最初にわが国の土を踏んだ地に



▲鹿児島スペイン協会より当協会にザビエル像が寄贈された

ある、鹿児島スペイン協会から順に、活動報告と近況を発表しました。

短い時間でしたが、参加の皆さんが友好を深めることができました。

そして最後に、当協会の下山会長が「横浜宣言」を読み上げこれを採択し、終了しました。

#### 「横浜宣言」

私たちスペイン友好団体は、スペイン国との友好を末永く継続し、わが国との文化交流と、お互いの国の理解のために努力することを、ここに宣言します。

2005年6月24日

全国スペイン友好団体交流会参加団体名（発表順）

鹿児島スペイン協会 神戸日西協会 関西日本  
スペイン協会 日本・カタルーニャ友好親善協会  
財団法人日本スペイン協会 宮城スペイン協会  
山形スペイン協会 函館スペイン倶楽部 横浜  
スペイン協会

## (2) ビバ スペイン！ スペイン音楽の夕べ

『ビバ スペイン！ スペイン音楽の夕べ』は、協会創立15周年記念コンサートと銘打って、会員音楽家の協力で開催された「ガラ・コンサート」でした。

当協会員には、多くのアーティストがおられ、この力を一堂に集め、創立15周年記念イベントのメインの一つとして何かできないかといったことから企画されたものでした。

当協会として音楽会イベントは、過去に一度だけ2003年10月に、スペインからのアーティスト「パネビアンコとデル・モナコ」による「スペインギターの夕べ」の開催経験があるだけでした。このため、いくら出演者が会員だけで、この方々から特別な協力が得られるとはいえ、会場の選定から一般の方々に対しての告知、チケットの販売をはじめ、プログラムの作成、舞台演出、照明などなど専門家の知恵と力をお借りしなければ



▲フィナーレで観客の歓声に応える出演者

できない難問が山積み、その解決に担当の安田理事をはじめ、出演もされた上野理事、正木さんの3人を中心に、多くの努力がなされました。

おかげで、当日は会場も超満員。これこそ横浜スペイン協会にしかできないという、コンサートを開催する事ができました。コンサート終了後は、多くの方々から「素晴らしかった、ありがとう」の言葉をいただきました。また、全国各地のスペイン友好団体の方々からも「横浜スペイン協会さんは素晴らしい。私たちのお手本です」というお言葉もいただきました。

## (3) 私たちのスペイン展

15周年記念行事『私たちのスペイン展』は、6月20日（月）から26日（日）の一週間にわたり、“みなとみらいギャラリー”において行われました。

会員による写真、絵画、押し花、切り絵、和紙人形、ミニハウスの作品の展覧があり、いずれもスペインに寄せる思いに溢れた力作ぞろいで来場者の皆さんにもなかなかの評判でした。これほど隠れた才能のある会員が多くいたことに驚かれた人も多かったでしょう。

ギャラリーは“みなとみらいホール”の隣でしたので、特に24日（金）の協会のコンサートの日はスペイン大使館



▲スペイン展には多くの方が来場し作品に魅入っていました

の方々や、日本各地のスペイン協会の方々をはじめとして多くの方に来ていただきました。また、22日に神奈川新聞とtvkテレビの取材がありましたので、その報道を見て来ていただいた方もあり、一週間の入場者の総数は、約1,000名を数えました。来場の皆さんには出展者の各々のスペインに対する熱い想いが伝わったばかりでなく、新たにスペインの多様性にも触れて頂けたのではないのでしょうか。

ギャラリーには毎日多くの会員やその家族、友人が訪れ楽しい交流の場ともなっていました。また、見ず知らずの来場者とも作品を見ながらスペインを共通語として語りあうことも出来る、和やかな雰囲気の間でもありました。

長期にわたる準備、初日の会場設営、そして期間中の受付と多くの人が関わって協力し合いました。会員みんなで一つのことをやり遂げたという達成感を共有できたことは何にも増してよかったと感じております。

## (4) 創立記念パーティ開催

イベントの最後を締めくくるものとして、午後7時30分からは、横浜グランドインターコンチネンタルホテル・パシフィックの間で協会創立15周年記念パーティが開催されました。

まず下山会長の挨拶があり、続いて駐日スペイン大使の代理としてギジェルモ・キルクパトリック文化担当参事官、来賓を代表して宮城スペイン協会の早川会長のご挨拶、当協会顧問で元駐スペイン日本大使、現在日本・カタルーニャ友好親善協会の林屋会長が乾杯の音頭をとってくださいました。

このパーティには170名余の方々のご参加をいただきました。殊に全国スペイン友好団体交流会に出席された、日本各地のスペイン友好団体の重鎮の方々、北は北海道から南は九州までの6団体、その他横浜国際交流協会、マスコミ関係者などにもご参加いただき、大盛況でした。

また、特別アトラクションとしての岡本倫子フラメンコ舞踊団の、華麗なフラメンコもパーティ参加者に大うけでした。

なお、このパーティの席上、本年は『ドン・キホーテ』初版本刊行400年の年に当たるのを記念して、スペイン大使館より記念本の『ドン・キホーテ』が当協会に贈られました。



▲キルクパトリック文化担当参事官よりドン・キホーテの原書の贈呈を受ける下山会長

## 会員のひとこと … 協会15周年に添えて

協会15周年に際し会員の皆様より一言を頂戴しました。前号に続きご紹介いたします。

- 横浜スペイン協会創立15周年おめでとうございます。協会主催のスペイン語教室に参加して3年余。加齢とともに進む“忘れ”のため、まるでザルで水を掬うように、一向に進歩しませんが、教室で汗かき恥かきしながら楽しい時を過ごしています。更に2年前から、70の手習いとばかりに、絵画教室へも出席するようになりました。小学生時代以来、絵筆とは無縁の日々でしたが、AIYESのお陰でいいチャンスをいただけたことに感謝しています。10年程前のスペイン旅行がきっかけで、言葉を習うきっかけをもち、9・11の当日北スペインを旅していました。これが発端でスペインを描いているのです。もっともっと体と語学力を磨いて、スペイン風景を描き続けたいこの頃です。(西川貞子)

- 発足当時にお誘いいただいて入会しました。以来、スペイン語教室を続けています。また数年間、理事もさせていただきました。スペイン・サロンの担当をして、その間に98年のさくら植樹・友好親善訪問にも参加し、交流イベントで押し花や折り紙を紹介したのはよい思い出です。(石川美知子)
- 下山会長の発案による『スペイン市民との文化交流』構想の実現に向けて共に努力した紆余曲折の10年。会長の執念が実り、『スペイン大好き』な仲間が集い当協会を設立。多芸多才、学識経験ともに豊かな多くの会員の活動に支えられて今日の発展を見ることができましたこと感慨無量です。今後さらなる発展を願うとともに、皆様のご尽力に対し厚く御礼申し上げます。(齋藤由基彦)

## \*\*\*\*\* スペイン・サロンへのお誘い \*\*\*\*\*

10月のサロンは、音楽サロンとの共催でスペイン・サロン・スペシャルとして、とてもユニークな音楽コンサートを開催します。

20世紀前半スペインで大活躍したポピュラー音楽の大家、マヌエル・キローガの歌曲集「刺青 Tatuaje」“本邦初演”(当会員 飯田京子/飯塚劭 共訳)、飯塚劭 作曲・岩崎良子 編曲 の「シマンカス組曲」“世界初演”、フェデリコ・ガルシア・ロルカの歌曲、武満徹 作曲のポピュラー曲など、横浜スペイン協会ならではのコンサートです。

### “TATUAJEを歌う”

出 演 ボーカル：石井三栄子(会員) ピアノ：岩崎良子(会員)

特別出演 ギター：高木潤一 ベース：小林潤市

日 時：10月1日(土) 18:30開場 19:00開演

場 所：神奈川区民文化センター かなっくホール

J R線東神奈川駅・京急線仲木戸駅 徒歩1分 東急線東白楽駅 徒歩10分

主 催：横浜スペイン協会

協 力：ミュージック・オフィス・田島

料 金：会員1,000円(横浜スペイン協会カウンターで会員証提示のこと)

一般2,000円

いずれも全席自由席

☎問合せ先：安田秀之

## 歴史の流れを知るスペイン・サロン

7月のスペイン・サロン「中南米の歴史と文化」伊藤昌輝氏 国連改革担当大使(外務省参与)

先ず中南米といった呼称に関しては、その対象とする地域にもよりますが、1492年スペインのパロス港を出航したコロンブス達がバハマ諸島サン・サルバドールに降り立ち、さらにキューバ島を経由してエスパニョーラ島に到達した当時は、この地はインドと考えられ、その先住民はインディオと呼ばれたのですが、やがてフィレンツェ出身の航海士アメリゴ・ベスピッチ(1451-1512)により、この地は新大陸であることが証明され、彼の名を取ったアメリカとなるのです。さらに、15、16世紀の大西洋・インド洋への領土拡大の中心がイベリア半島にあるスペインとポルトガル王国であったことから、イベロ・アメリカとも呼ばれてきました。またラテン・アメリカの呼称もあり



▲講師の伊藤昌輝国連改革担当大使

ますが、カリブ諸国を含め現在、包括的にはアメリカ・ラティーナ・イ・カリベと呼んでいます。

スペイン語を話す国が18カ国、英語が13カ国、さらにフランス語、ポルトガル語など言語面での多様性に留まらず、多様性と共通性に富んだ国々です。北米（アングロ・サクソン）と中南米の違いは、その入植、コンキスタドールの時に遡り、即ち北米が1620年代英国からの新天地を求めて家族単位でプロテスタントの人々が入植してきたのに対し、中南米の方は15世紀の終わり頃、即ち中世の時代の中で金銀を求めてコンキスタドーレスが、既に独自の文化圏を築いていたアステカ王国やインカ帝国を滅ぼし、さらにはアフリカ黒人を入植させて作り上げていった国々であると説明されました。

#### ● 先コロンブス期

ベーリング海峡が氷の陸橋で繋がっていた一万年も前の頃にアジアからアメリカ大陸に渡ってきたモンゴロイド系の狩猟民族が、先住民であり、日本人と同じ祖先を持つものと考えられています。その後アメリカ大陸は、外の世界から孤立し、他の文明の影響を受けることなく、メキシコ高原やユカタン半島、アンデス高地などに独特の文明を築いてきました。それらはマヤ文明、アステカ文明、インカ文明であります。

#### ● メソアメリカ

現在のメキシコからコスタリカあたりまでの中米地帯を指します。ここに、かつてマヤ文明やアステカ文明が栄えました。

#### ● オルメカ文明とマヤ文明

紀元前1200年頃からメキシコ湾岸の低地に栄えていたのがオルメカ文明で、雨と水を司るジャガー神を信仰していたオルメカ族が築いたものです。最初に文字と数字を考案したのもオルメカ人と言われています。そしてオルメカ文明の遺産を受け継いだのが、ユカタン半島を中心に一大文明圏を築き上げたマヤ族の人々でした。

マヤ文明が一気に開花したのは、紀元250年頃と思われその内の600年頃までの古典期前期は、それ以前にメキシコ高原盆地に栄えていたテオティワカン文化の影響下にあり、ペテン低地を中心に数多くの石碑が建てられ、宗教と交易の中心である大きな祭祀センターが建設されました。その後600年頃から神殿建設などが盛んになり古典期後期と呼ばれています。マヤ文明の衰退の原因は、交易活動の衰退、外的の侵入、内乱、自然環境の変化、当時メキシコ高原を支配していた軍事国家トルテカの勢力によりトルテカマヤ文化へと移行し、やがて16世紀に入りスペインのコンキスタドーレスの侵略により消滅したと考えられています。

#### ● インカ文明ーアンデス地方

現在のペルーからボリビア、チリ北部に亘るアンデス地方は太平洋に面した僅かな低地（ローマス）と標高3000メートル以上の山々が連なる乾燥した高原の荒れ地（プーナ）から成り立っています。インカ文明の源流としては、現在のペルー中西部地域で、ジャガー神を信仰する人々によりチャビン文明が築かれ、その後紀元2-3世紀にかけてモチェ文化やナスカ文化といった軍事色の強い文化が生まれ、インカ帝国の出現の土壌を作り上げてきました。インカ族は1200年頃からクスコに定住しマンコ・カパックにより王朝が開かれました。9代目の王パチャクテクから3代に亘り、インカ帝国はその最盛期を迎えアンデス地方のほぼ全域を支配下に納めます。この強大な帝国が滅亡したのは、最後の皇帝アタワルパがフランシスコ・ピサロによって処刑された1533年です。スペイン人の侵略と破壊から免れた空中都市マチュ・ピチュの姿をご覧になった方も多いことでしょう。

#### ● スペイン人の到来

イベリア半島のスペインとポルトガルは、大航海時代にふさわしい、進んだ航海技術のみならず、領土拡大の意欲はイベリア半島でのイスラム教徒に対するキリスト教徒の国土回復運動レコンキスタに根ざしていると言われています。このレコンキスタの勢いは半島内に留まらず、領土の征服と共に、邪教を信じる人達のキリスト教化、異教徒の精神的征服までも果たそうという意欲につながっていきました。コロンブスはインドへの航海の財政的支援を最初ポルトガルに求めたが叶えられず、当時のカスティリア女王イサベラに支援を仰ぎました。

イベリア半島最後のイスラム国家のグラナダ王国を倒したイサベラ女王は財政的支援を約束しました。コロンブスが西インド諸島に到着したと言う知らせを受けたスペインは、太平洋の既得権と、今後の権益を保

護するためにローマ法王アレクサンデル6世に働きかけ1493年法皇境界線を設定させ、世界は2分割され、大西洋のアゾレス群島西方の子午線より東方はポルトガル領、西方はスペイン領としました。しかしその後この境界線に不満を持ったポルトガルは1494年トルデシーリャスでスペインと交渉し境界線を更に西方へ移動させた。(トルデシーリャス条約) ポルトガルはこれにより、後にブラジルを領有する法的根拠を得ました。

スペイン人の悪行Leyenda negraについては、パードレ・ラス・カサスが書いているが、良心についても評価されねばなりません。

時間の制約もあり、現在の中南米各国の問題に関してはディーツァイムを利用して参加者からの質問に大使が答える形で行われましたが、貧富の格差、政府と民間との施策のバランス、教育、スペインとの関係、家族問題など、参加者の関心の高さが認められたサロンでした。(山崎 宗城)



## たのしい絵画教室



旅の楽しみは、旅行先の文化や歴史に直接触れることができたり、日常と異なった風景を目にすることではないでしょうか。ことに美しい風景を写真に撮ったり、スケッチしたりすると、その旅はさらに印象深いものになるでしょう。

絵画教室では、旅先でのスケッチに役立つ手法をはじめ、いろいろな画材を用いて、自分の好きな絵を描くことができます。

絵を描くことが初めての方、またすでに多くの絵を描かれている方、どうぞ私たちと一緒に島津画伯の指導を受けながら、絵を描くことを楽しみましょう。

◆開催場所：島津画伯アトリエ（東海道線真鶴駅下車徒歩15分）

◆9月以降の開催予定日（原則として毎月第1土曜日午後1時30分より）

9月3日（土） 10月1日（土） 11月5日（土） 12月3日（土）

◆絵画教室参加費：1回（1ヵ月）会員 2,000円 一般 2,500円

☎問合せ先：西川貞子

e-mailは、協会ホームページよりアクセスできます。



## 私のスペイン

スペインは多様の国です。それぞれの人の想いも多様です。あなたの想いは何ですか？

—— 会員投稿 ——

### 『La Violetera』（スミレの花売り娘）

—— 渡邊 昭夫 ——

約10年前に当協会の集いで聴いた、あの「La Violetera」でスペインへの想いが一層募りました。高柳治子さんのお話は、この曲をテープで聴きながら、「マドリードへ行ったら是非この「La Violetera」ゆかりの銅像を訪れるように」というものでした。高柳さんの熱心さが印象的でした。

ご存知のようにこれは古い曲ですが、チャップリンの名作「街の灯」では、バージニア・チェリルが演じる盲目の花売り娘のテーマ音楽として有名です。泣かせる映画です。

間もなくして、スペインへの旅行が実現した際、まだ治安の良かったマドリードでこの像を夫婦で探し歩き、見つけたときは感激一入でした。本当だったんですね、高柳先生！場所はLa Puerta del SolからCalle de Alcaláを東へ300メートルほど行ったところです。結構大きい銅像です。気に留める人はいませんでした、この像の台座にあるパネルに「La



▲花売り娘の像

Violetera」の歌詞の初めの2行、「Como aves precursoras de primavera en Madrid aparecen las violeteras……」を見つけたときはまた感激でした。「春の訪れを告げる鳥のように マドリードにスマイレ娘が現れる……」。むかし春を告げる花売り娘達がいた頃の、街角の華やかさが偲ばれます。

折角だからと、El Corte InglésのCDショップへ行き、店のseñoritaに、“La Violetera, por favor.” とお願いしたら、暫くしてRaquel MellerのCDを探してきてくれました。1920年代の懐かしい歌声です。

ちょっとしたキッカケが印象的な体験に結びつき、スペインというと、まずこの思い出を省くことができません。高柳さんには感謝、感謝です。

その後、この花売り娘はまた場所を変えたようです。今頃はどこで歌っているのでしょうか、「¡llévelo usted señorito……」(召しませ花を……)。

---

## 会員投稿

---

### 「私のスペイン」

廣瀬 勝亮

それは私の婚約時代に始まりました。この時代の男は誰でも(多分)孔雀がああ羽を大げさに広げるように、婚約者にはせいぜい気張って「いい格好シー」をするものです。私も他の誰にも負けじとばかりに「超」気障男に変身して、「一言」言いました！その頃も今と同じくとても貧乏でしたが、「新婚旅行は、この地球の上なら何処でも連れて行くよ！」その頃の新婚旅行の「メッカ」は九州の宮崎でした。婚約者は遠慮深い人でしたから、そこまで行かず「熱海」位に言ってくれると思っていたら、一言「セビリア」でした。理由は訊きませんでした。サー、行く前の準備が大変で、その分現地セビリアでは何故か大歓迎を受けました。それ以降は、どんな御礼をセビリアにしたものかと日夜頭を痛めていました。

あのグアダルキビール川の堤に桜並木を作ったらどんなに素晴らしいだろうか、とワシントンのポトマック川を思い浮かべながら夢見ていました。仕事柄、横浜の植物検疫所の人に相談したら、一蹴されてしまいました。特に桜の樹は植物防疫上問題の大きい樹木でした。諦めかけていた所に「横浜スペイン交流協会」が発足するという話を聞き、当時転勤先の大阪から参加を致しました。一人では出来なくても、大変な困難ではありましたが、皆の協力・努力でやれば何とかできるものなのだ！(ポトマック川ほどには行かなかったけれども……)

スペインに行く前は、もっぱら仕事でメキシコ、グアテマラによく行っていました。現地での友達も何人か居て、大晦日の晩に「第九」の実況演奏放送の前に日本からのお客さんとして突然紹介されて、マイクを渡されたことがあるほどでした。日本人と同じ温かい心を持っていて、言葉は充分通じなかったものの、心は良く通じていました。そんなことから、スペインには直ぐに馴染めました。メキシコ、グアテマラとスペインとでは文化が全く違いますが、共通する人の温かさは同じです。

しかし、時々気に掛かって来る事があります。過ぎたこととは言え、或いは歴史上止むを得なかったことなのでしょうが、中南米をあれほどまで壊滅的に攻撃を加えたスペインとは、何だったのだろうか、と。両方の国に友人を持つ身として密かに心の痛む私です。

## －賛助会員各社の会員サービス内容－

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より、表記のサービスが受けられます。

| 賛 助 会 員       | 住 所                       | 電 話 番 号       | 会 員 サ ー ビ ス 内 容 |
|---------------|---------------------------|---------------|-----------------|
| レストランオーリーブ    | 横浜市中区高島2-5-10             | 045-441-4996  | サングリア1杯無料       |
| カサ・デ・フジモリ関内本店 | 横浜市中区相生町1-25              | 045-662-9474  | サングリア1杯無料       |
| Bar Español   | カサ・デ・フジモリ関内本店前            | 045-651-1074  | サングリア1杯無料       |
| カサ・デ・フジモリ目黒店  | J R 目黒駅(東京) 徒歩5分          | 03-5420-5328  | サングリア1杯無料       |
| メイプル・ノブ       | 横浜市神奈川区西神奈川1-6-1 サクラビル701 | 045-321-5638  | 押し花材料代10%割引     |
| 日西商事(うさぎのいる島) | 横浜市戸塚区品濃町252-3            | 070-5024-8196 | ワイン1杯無料         |

## //////////////// 新入会員紹介 //////////////////

**久保田 誠志** (Seishi Kubota) 2005年4月30日入会

横須賀市野比

スペイン語教室を通じて、協会の活動を知ることができました。スペイン語およびスペイン語圏の人々をさらに理解するために、メンバーに加えさせていただきたいと思います。

**岩崎 良子** (Ryoko Iwasaki) 2005年5月1日入会

東京都江東区

会員の石井（正木）三栄子さんと一緒に演奏する機会が多くなり、スペイン音楽に興味を持つようになりました。即興演奏することを、音に対するコンセプトとして演奏している私にとって、スペインの音楽は、とても魅力的であり勉強になります。

おしゃれで、陽気で、でもどこか真面目で、時にはとても「陰」を感じさせるスペイン人も素敵です。協会に入会して、多方面でスペインの良さを知っている方々に接して、ますますこの国とのつながりを深めて行きたいと思います。

## \*\*\*\*\* 事務局からの重要なお願い \*\*\*\*\*

当協会は、本年7月創立15周年を迎えました。これは多くの会員と、ご協力下さった方々のおかげといえましょう。しかし、私たちを取り巻く情勢は大きく変わりました。例えば、情報・通信の変革・発展、民間団体等による広範囲な社会活動、平和に対する脅威の増加。このような環境の中で、私たちの協会は今後どのような方向に進んだら良いのでしょうか。

「私の協会」という意識で、会員皆様のご意見を集約し、それを具体化しようと、今総会の事業計画で承認されました。それが「ビジョン委員会」です。会員皆様のご意見と、この委員会の運営にご参加頂ける方を募ります。会員であれば、どなたにも参加資格があります。

9月30日(金)にまで、事務局までお申し出下さい。

＜編集後記＞ 協会15周年行事も会員皆さんの協力により無事終了しました。しかもほとんどが、言わば「会員の手作り」であったことはこのイベントをよりいっそう素晴らしいものに仕立ててくれました。そして「きたる20周年には」とすでに思いを馳せている方もきっといることと思います。この15周年を成功させた思いを忘れずにAIYESを発展させていきましょう。もちろんAIYES通信にもよろしくご協力のほどを（鈴木生雄）

編集委員 渡邊昭夫 澤田真人 鈴木生雄 高柳治子 寺原瑛子 廣瀬勝亮 牧瀬 貢 宮崎紗伎 村田 誠 飯塚 昶

\* 投稿寄稿宛先 横浜市戸塚区

横浜スペイン協会URL <http://www.yokohama-spain.org>

次号の原稿締切は  
**11月14日(月)です。**  
投稿は800字以内、写真1点をお付け下さい。